

# 学生図書委員だより



発行・二〇〇九年五月  
編集・学生図書委員

No.5

今月の一首

うつし世は耳鳴りなりとジャンプせり  
父・我・阿修羅みなジャンプせり

渡辺松男

あそこまで、あそこまでと少しずつ距離を伸ばして。いつせいの、でみんな飛ぶ。

ぼくたちは勝手に育ったさ

制服にセメントの粉すりつけながら

加藤治朗

そう悪いものでもなかったよ。でもそれなりに見ていたよ。色んなことを。色んなことを。

四月の陽気もありがたみがなくなって、なんだかだらだらしてしまいがちなこの季節。活字を追う目も重くて、全然ページが進まない。  
そんなあなたに喝！ こんなときこそ、読み出したら止まらない超・エンタメをどうぞ。活字は何よりの娯楽です。ただし、続きが気になって夜眠れなくならないよう、それだけはご注意を。

五月病を吹き飛ばす！

## 超・エンターテイメント大特集

エンタメにも様々な種類がありますが、ここではあまり男臭くなく、筑女の学生も読みやすいものを念頭に選んでみました。

まずは、『穴』（ルイス・サッカー）。無実の罪で矯正キャンプに送られてしまった少年を待っていたのは、来る日も来る日も穴を掘る毎日。ある日とうとう決死の脱出を試みるが…！？ 随所に現れる断片がひとつに繋がったとき、浮かび上がる物語とは。すかっとする痛快サクセスストーリーです。

お次は夢枕獏の『陰陽師 シリーズ』。映画化で一躍安倍晴明ブームを巻き起こした本作は、映画の印象とは違い、ゆったりしていて大変読みやすい本です。とはいえ陰陽師ならではの和風活劇もあるのでご安心を。岡野玲子の漫画版も、原作の世界観そのまま美しくおすすりめです。

池上永一の出世作『シャングリ・ラ』は、温暖化のために熱帯と化してしまった東京が舞台。混沌とした東京で立ち上がるは、なんとブーメランが武器の女子高生！？ スケールの広さ、みなぎるパワー、読み出したら止まりません。まさにウルトラ大作という名がふさわしい、ハチャメチャでなんでもありな娯楽小説です。

意外に知られていないと思うのが『大誘拐』（天藤真）。大金持ちのおばあさんを誘拐したはいいの、なんとそのおばあさん自身が身代金に百億（！）をふっかけてしまったのだからさあ大変。空前絶後の大誘拐が始まります。ユーマア溢れる語り口と、警察との本格的な駆け引きはまさに超・エンターテイメント。痛快な大活劇の傑作です。最初から最後まで目の離せない展開がお見事。そして、活字が大好きだと自認

するあなたにお薦めなのが、『荊の城』（サラ・ウオーターズ）。とある城の令嬢を騙して、財産をこっそり奪おうという計画を持ちかけられた主人公は、しかし…？ 読んでいくうちに、事実が二転三転して目が離せません。はらはらした展開の先の真実は？ 驚きにして絶妙なラストをどうぞお楽しみあれ。

ここではほんの五冊しか紹介できませんでしたが、エンタメは海外の作品も読みやすいので、国内外を問わず、ぜひとも色々な本に挑戦してみてください。最後に、ここには詳しく書けなかった本も書名だけ。

甲賀忍法帳 シリーズ（山田風太郎）、『百万ドルを取り返せ！』（ジェフリー・アーチャー）、革命 シリーズ（一作目は『断鎖Escape』・五條瑛）。